



2月 さかなぐるーぷだより

2024. 2. 1



今年の冬は暖かく、1月でもお散歩や園庭などお外あそびをたくさん経験することが出来ました。公園でも園庭でも好きな遊具やあそびを選んであそぶので、年齢と関係なくお友だちの輪が広がってきています。同じあそびの中でも、ゆりさんはあそびを教える役割をしてくれて、ばらさんが楽しむ姿を見て、さくらさん、すみれさんが「わたしもしたい!」と言ってあそびに参加していく姿が目立ち、花いちもんめやおにごっこなど、ルールのあるあそびをみんなで一緒に楽しんでいます。年齢によっては難しいルールもあり、初めは不思議そうにあそびを見ているお友だちも、みんなであそんでいるとだんだん楽しくなってきたり、気付くと笑顔で参加してくれています。その姿はお部屋で過ごすときにも見られます。お正月明けにはゆりさんが年賀状の話をしてくれたのでお部屋の入口に年賀の挨拶を縫いさして作りました。すると、ばらさん・さくらさん・すみれさんも、次から次へとぬり込みや縫いさして作った作品を「これもかざりたい!」と言って保育者に届けてくれたり、「はやくゆきだるまつくりたいな」と言ってゆりさんが作ってくれた雪だるまを見ると、また次から次へと「わたしもつくりたい!」と言う声を聞かせてくれました。また、どうぶつさんやことりさんのお部屋ものぞいて、「あれしたい!」「これしたい!」と、子どもたちの好奇心はさかなグループのお部屋だけにとどまりません。お部屋や階段はいろいろなあそびでいっぱい、にぎやかで温かみのある空間になりました。2月も「やってみよう!」と、ワクワクする気持ちで活動出来るように、子どもたちからアイデアをもらいながらあそびを広げていきます。



《いっしょに》

す2のお友だちが幼児フロアにお引越ししてきてくれました。初めは恥ずかしそうにお部屋に入ってきてくれて、遠慮がちにちょこんとイスに座って大きいお友だちがあそぶ様子を眺めていたす2のお友だちでしたが、先に移行してすっかり2階の環境に慣れたす1のお友だちがいてくれたので、安心した様子も見せてくれるようになりました。ホールであそぶときは、恥ずかしそうにしているす2のお友だちの手をばらさんが引いて一緒にあそんだり、休息の時間にはゆりさんがトントンして寝かしつけしてくれています。新しいお相手さんが出来たお友だちも、しばらくはお互いにドキドキするかもしれませんが、少しずつ仲を深めていけるように過ごしていきたいと思います。



裏面も見てください⇒



《すこしずつ》

ゆりさんは、小学校に向けて、少しずつ準備を始めています。すみれさん、さくらさん、ばらさんが給食を食べているときには、ホールで楽器を使って合奏するなど、ひと遊びをしています。そのあと、ベット運びをし、ポッポに降りて、正座をして給食を食べています。ゆりさんだけでいつもとは違う場所で食べることが嬉しくて、楽しくて、お話に夢中になる姿も。おかわりもたくさんして、ごちそうさまをしたら、乳児さんのお部屋に行って、お手伝いをしています。小さいお友だちの着替えを手伝ったり、トントンしたりしています。お手伝いが終わって2階に上がってくると「かわいかった〜」「トントンしたら、ねてくれたよ!」とお手伝いを楽しんでいる様子があります。ゆりさんで食事したり、お手伝いすることを楽しんでいる子どもたちです。



☆☆☆☆☆☆☆☆ 《たこあげしたよ!》 ☆☆☆☆☆☆☆☆

さくらさんは、ホールで、ばらさん・ゆりさんは河川敷で凧揚げをしました。可愛い凧が上に上がると嬉しくて、「みてみて!」「あがってる!」と楽しみました。お友だちと凧がどこまであがるか「よーいどん」と競争してみたり、一緒に走ろう!とペースを合わせて走ったりしました。河川敷では、冬の寒さを感じながら、たくさん体を動かしました。さくらさんは、ホールで順番にしました。「よーいどん!」で走ると、凧が上がり、「うわ〜」と嬉しそうな子どもたちでした。

